

「学校事故対応に関する指針」(平成28年3月)に関連する意見

日本AED財団理事 埼玉大学教育実践総合センター研究員 桐淵博

1 「指針」公表後の一定の成果

⇒ ○突然死防止等救命事例の増加 ○「横断整理」(R2.3)で具体的な教訓浮き彫りに

2 「指針」に係る改善課題

①「命にかかわる」ものはもっと具体的に

現行は“方法論”中心⇒ハードの日常点検:サッカーゴール事故、指導内容の点検:熱中症、柔道事故、プール事故など具体例を

②定期・継続かつ具体的な事例に基づく研修の促進

市民によるBLS(Basic Life Support=心肺蘇生やAEDなどによる一次救命処置)の意義の徹底が不十分

・社会的には新しい課題
・大学では教わらない
・学校や自治体による温度差

③「指針」、「評価・見直しガイドライン」(R3.6)自体の周知徹底を図る取組

④重大事故の事例を踏まえた注意喚起「通知」は有効、適宜発出を(そこで③やポータルサイトなど紹介)

3 コンフリクト・マネジメント(conflict management=衝突や対立を回避するための危機管理)の基盤整備

=「預かったお子さんをそのままの姿で家庭に帰すのが、学校の最低限かつ最大の責務」の精神性の醸成と能力の育成

○教員養成課程で「学校安全・事故防止」を必須単位化する=「教職の専門性」に“格上げ”する

⇒ 教員志望者の不安払拭に効果

○現職教育(教職員研修)体系に「学校安全・事故防止」を標準化する

大川小裁判判決
「地域住民よりはるかに高いレベルの知識と経験」

- ①H27.2.27NHK「ほっとイブニング」「生活情報ブログ」 ②H28.5.23埼玉新聞 ③H29.11.30NHKニュース(東海)、H29.6.9地域情報紙「タウンニュース」 ④H30.3.21琉球新報(YAHOOニュース) ⑤H30.7.5 TOKYO MX NEWS(H30.7.27NHK NEWS WEB)
⑥H30.11.14神戸新聞 ⑩R1.12.10東京新聞Web ⑪R2.9.24東京新聞Web ⑫R2.11.10朝日新聞DIGITAL
⑭R3.3.10千葉日報Web ⑮R3.9.1 朝日新聞

学校での救命教育が命を救う

- ①H27.1月山口県萩市駅伝大会で**中学校3年生**が60代男性の救命に活躍(ASUKAモデル！)
②H28.3月埼玉県私立高校バスケット部活中の生徒を**教師・生徒連携**して救命
③H29.4月川崎市**中学校3年生**が自宅で倒れた父親を救命
④H30.1月沖縄県高校で長距離走で倒れた生徒を**生徒・教師連携**して救命(ASUKAモデル！)
⑤H30.6月東京江戸川区の飲食店で**小学生親子**二組がAEDリレーで市民を救命
⑥H30.10月兵庫県赤穂市**中学校3年生**が作業中に転落、意識不明になった50代男性を救命
⑦H28.11月埼玉県上尾市で体育授業中の中学校3年生を**教師・生徒連携**で救命(ASUKAモデル！)
⑧H30.11月埼玉県上尾市で体育授業中の小学校6年生を救命(ASUKAモデル！市内2例目)
⑨R1.8.22教員免許更新講習会場で救命された本人から報告がありました(ASUKAモデル！)
⑩R1.7.30横須賀市の**小学校5年生**が自宅で倒れた父親を救命
⑪R2.7.19埼玉県立高校サッカー一部で生徒が突然倒れ、**部員、マネージャー30人と顧問連携**して救命
⑫R2.9.24宮崎市小学校給食後に倒れた児童を**教諭・児童の連携**で救命
⑬R3.2.22佐賀県で**ASUKAモデルを学んだ人が知人を救命**(ASUKAモデル！)
⑭R2.12.21千葉県成田市で**ASUKAモデルを学んだ人**(NHK「逆転人生」)が高校生らと**市民を救命**(ASUKAモデル！)
⑮R3.8.17 埼玉県狭山市で聖火リレー観覧中倒れた男性を救命**小学生3人が大活躍**

明日香さんの事故後
数年は不十分な対応
や訴訟のニュースが
多かった。

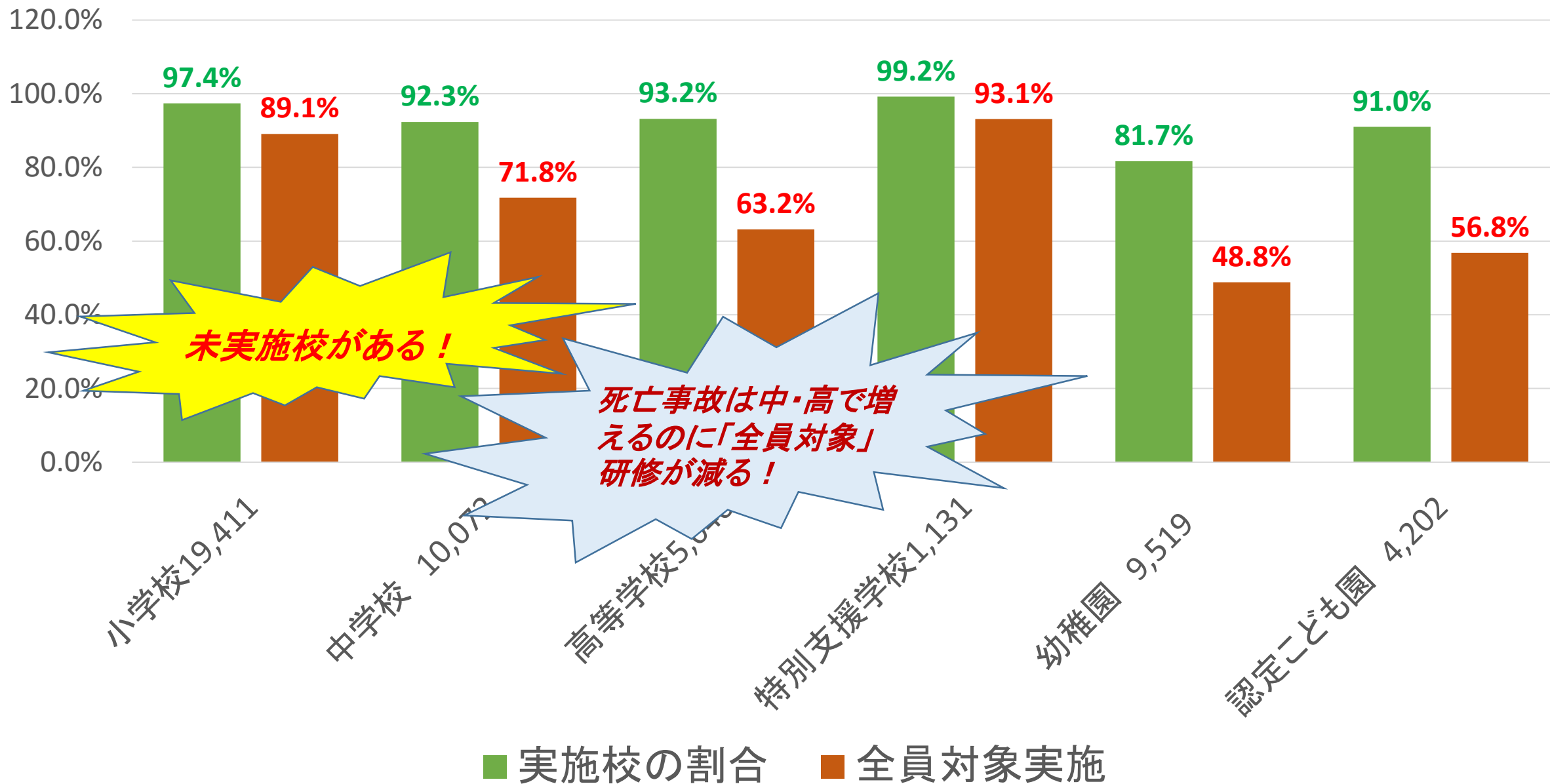


○「学校事故対応に関する指針」
救命処置の重要性・緊急性を強調
○消防や財団等の活動の拡大
○TVなどマスコミでの取り上げ



トラブルより救命のニュー
スが増えてきた

国公立学校における心肺蘇生とAED使用の教職員研修実施状況
(文部科学省「学校安全の推進に関する計画に係る取組状況調査」(H30年度実績))

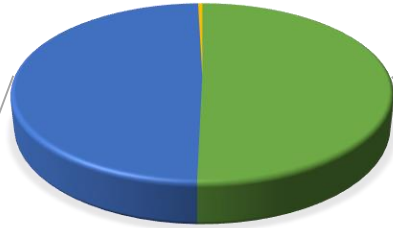


目の前で人が倒れた時心肺蘇生やAEDで救命活動ができるか BLSに関する教職員アンケート、桐淵

市外管理職 N=1410

H28～H31R1

できない, 6, 1%
不安(できるかどうか
わからない), 690, 49%



できる, 706, 50%

管理職

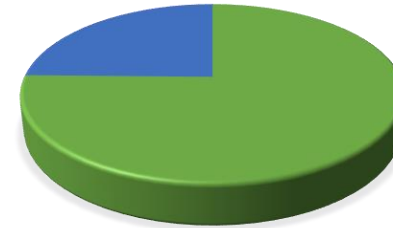
できる, 183, 75%

H30.7

さいたま市管理職 N=243

できない, 0, 0%

不安(できるかどうか
わからない), 60, 25%



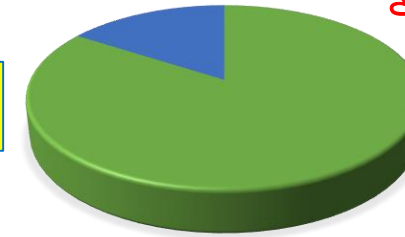
市外養護教諭 N=1260

養護教諭

できる, 697, 56%

できる, 128, 84%

さいたま市養護教諭 N=152



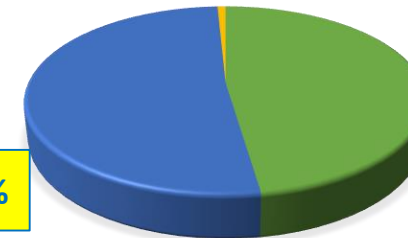
市外保健主事・安全担当 N=898

主事・主任等

できる, 355, 40%

できる, 122, 48%

さいたま市保健主事・安全担当 N=258



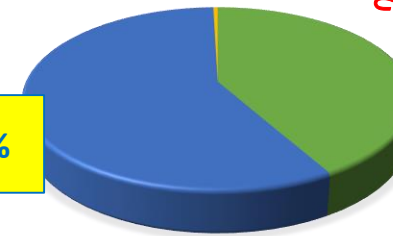
市外その他教職員 N=2724

その他教員

できる, 950, 35%

できる, 977, 42%

さいたま市その他教員 N=2351



子どもは管理職や養護教諭の前
で倒れるわけではない！

学校におけるEAP

(Emergency Action Plan)

倒れて反応がない。通常の呼吸がない、分らない。

昔は、「素人はさわるな！」

医学の進歩・AEDの出現
救命の
パラダイム・シフト

・すぐにやる！
・だれもがやる！
・みんなでやる！

養護教諭を待たない！救急車を待たない！

救命のアルゴリズムは進化する

小学校からの体系的な教育の推進
職場や地域で気軽に参加できる救命講習
AEDは身近に、誰もが知っている場所に

「子どもにやらせる」ためではなく
大人も子どもも

「みんなでやろう！」
と教えましょう

救急車は8.7分、医師引き継ぎは39.5分
(消防庁令和2年版救急救助の現況)

スキルとマインド
の両方を育む

助け合う安心な社会